

製品名: D4DR ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09770**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:20000-1:40000
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	DRD4
別名	DRD4; D(4) dopamine receptor; D(2C) dopamine receptor; Dopamine D4 receptor
遺伝子 ID	1815.0
SwissProt ID	P21917
免疫原	抗血清はヒト DRD4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 355-404

背景

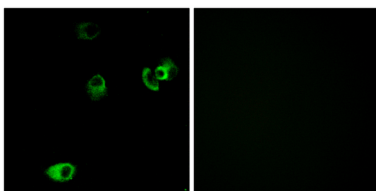
この遺伝子はドーパミン受容体の D4 サブタイプをコードします。D4 サブタイプは G タンパク質共役型受容体であり、アデニル酸シクラーゼを阻害します。統合失調症およびパーキンソン病の治療薬の標的となっています。この遺伝子の変異は、自律神経系機能障

害、注意欠陥・多動性障害、新奇性探求の性格特性など、様々な行動表現型と関連付けられています。この遺伝子は、48塩基のタンデムリピート配列を2~10コピー有しており、この配列には4つのリピート配列が含まれています。[RefSeq提供、2008年7月]、機能: これはドーパミン受容体の5つのタイプ (D1~D5) の1つです。この受容体の活性は、アデニル酸シクラーゼを阻害するGタンパク質によって媒介されます。多型性: 第3細胞質ループにおける16アミノ酸の反復数は高度に多型性であり、異なるアレル間で異なります。2回 (D4.2)、3回 (D4.3)、4回 (D4.4)、5回 (D4.5)、6回 (D4.6)、7回 (D4.7)、および9回 (D4.9) の反復数に対応するアレルが報告されています。示されている配列はアレル D4.7 のものです。多型性の反復配列は DRD4 結合プロファイルにほとんど影響を与えず、Gタンパク質との相互作用には必須ではない可能性があります。類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属します。サブユニット: CLIC6 (類似性による) および GPRASP1 と相互作用します。、

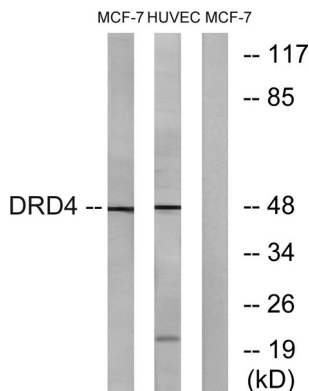
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

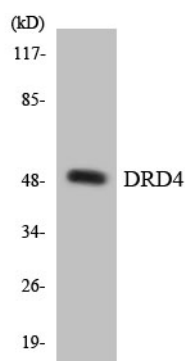
画像データ



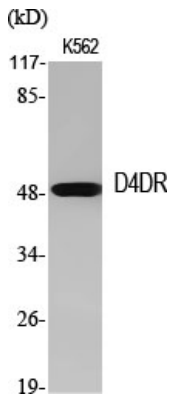
DRD4抗体を用いたMCF7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



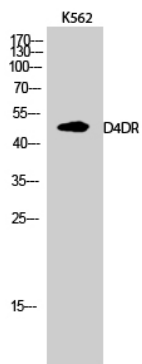
DRD4抗体を用いたMCF-7細胞およびHUVEC細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



DRD4抗体を使用したRAW264.7細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



D4DR ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



D4DR ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析